2018年11月　15日　　No.142　　発行責任者　田中　孝史

第１４２号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031　東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

働き続けられる職場を

４人に１人が辞めていくのは職場環境に問題が

数年前から郵政は新人で入っても4人に1人は辞めていると言われています。それを最近の例からみてみます。

窓口担当、郵便内務、郵便外務で

「数年前に入った新人に窓口業務の細かいものも全部教えて一人でできるようになって周りは喜んでいた。その人が突然『将来のことを考えて』と辞めていった」

「期間雇用社員から新一般職になって喜んでいた。周りは新一般職なのだからと言って倍も仕事をさせた。それが本人の負担になり長期の病気になった。結局そのまま辞めてしまった」

「局に入った時には上の役職を目指していた人が、あまりにも仕事の内容の割には給料が安いのでヤマト運輸への転職を考えている。新一般職は住宅手当の廃止がされるようになるから魅力がなくなっていることもあげていた」

「登用試験にも何回も受けても受からない。一次に受かっても二次で落ちるのは考えられない。年齢のことを考えて転職を考えている」

「通常区、夜勤、日曜日出勤もできて、夜勤が欠区のときには通常を終えてから夜勤もやっていた。その彼が上司のパワハラで病気になり、長期の入院の後に辞めていった」

人を大事にする企業へ

今どこの企業も人員不足で人の取り合いもうまれています。こういう状況だからこそ人を大事にする企業、安心して働けられる労働環境が求められています。郵政産業ユニオンはそういう職場にするために運動しています。一緒に声をあげていこう。

国会前で安倍政治ノーの集会

11月3日、安倍改憲ノー、安倍強権政治ノーを掲げて集会を成功させました。東京、近県から18000人が集まり、「軍事費を削ってくらし、福祉にまわせ」の声をあげてきました。